

プロフィール ^{くぼ あおい} 久保 葵 (28歳) 東京都より移住



里芋の収穫体験



芋がら作り体験

笠間の食の魅力で都市農村交流

あっという間に着任から3カ月が経ち、私の笠間生活も初めての冬を迎えようとしています。

10月末には、都市部の方に笠間の暮らしを体験してもらう移住体験ツアーが開催され、私もその中で里芋の収穫体験と芋がら作りの企画を担当しました。

当日は、南指原管理組合の皆さんにご協力いただき、クラインガルトン隣接のあいあい農園で里芋の収穫体験を行ったあと、芋茎の皮を剥く芋がら作りを教えてくださいました。その後は、実際に里芋と芋がらがたっぷり入ったけんちん汁を食べながらの交流会。ツアー参加者も里芋の食べ方や、芋茎の皮の剥き方のコツなどを質問しながら、地元の皆さんと色々なお話を交え、交流を楽しんでいました。

私も笠間に来て初めて食べた芋がら、今回の企画を通してあらためて笠間の食の魅力を実感することができました。地元の人には当たり前でも、都市部の人には新鮮に映る笠間の郷土食。そのような食の資源をこれからもっと発掘して、都市農村交流につなげていきたいと思っています。

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ブログやフェイスブックもご覧ください

ブログ▶ <http://ameblo.jp/kasamart-wa/>

Facebook▶ <https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問い合わせ】まちづくり推進課 (内線 538)



砂だるま

世界の意外なクリスマス

皆さんはクリスマスをどう過ごしますか? 私はパーティーをしたり、イルミネーションを鑑賞したり、ケーキやチキンを食べたりする日本のクリスマスを楽しみにしています。世界にもさまざまな過ごし方があります。

例えば、ハワイは一年中暖かく、雪も降らないため(ハワイ島の山を除く)雪だるまもスキーも、ホワイトクリスマスも冬の感覚ありません。その代わりに白い砂浜で砂だるまを作ったり、水着でサーフィンをするサンタがいます。そして、モミの木をクリスマス・ツリーを飾ります。ハワイは暖かすぎて育たないのでは?と思うかもしれませんが、そのとおりです。実は、モミの木は冷蔵コンテナに入れられ、船で運ばれてきます。

他にも真夏にクリスマスをお祝いする国があります。南半球にあるオーストラリアやニュージーランドでは日本の四季と逆になっているため、12月25日は夏です。ヤシの木をクリスマス・ツリーのように飾ったり、ビーチやピクニックに行ったり、バーベキュー

をしたりしています(笠間市AETスザンナさん・ピアンカさんより)。

さらに時期的にも違うところもあります。ロシア正教会のユリウス暦を基準としているため、クリスマスは12月25日ではなく、1月7日になっています。クリスマスが大好きな人はロシアで2回目のクリスマスをお過ごしはいかがでしょうか?

皆さん、I wish you Happy Holidays and see you next year!

【問い合わせ】市民活動課 (内線133)